



学校便り はぎ

令和7年度 No. 2
発行：令和7年4月30日
東村山市立萩山小学校
TEL 042-391-8116
FAX 042-397-5405

みんながつかむ 笑顔のミライ

校長 鈴木 賢次

新年度がスタートして1か月が過ぎました。新1年生の子供たちは学校生活にもすっかり慣れ、毎日楽しく学習や遊びに取り組んでいます。給食がおいしく食べられるようになったり、休み時間にお友達と元気に遊べるようになったり、一人で家まで通学路の決まりを守って帰れるようになったりと、一つ一つの「できるようになった」を大切にしながら成長している子供たちを頼もしく感じています。

また、1年生だけでなく、2年生以上の子供たちも進級し、新しい環境の中で前向きに頑張ろうとする姿がたくさん見られるようになりました。新しい学級、新しい教室、新しい友達、新しい先生など、4月はたくさんの新しい出会いがあり、それだけで子供たちは大きく変わるチャンスがあるのだと思います。始業式の日、子供たちに「成長するということは自分をよりよく変えること」だと話しました。前向きな気持ちで変わろうとする子供たちを周りにいる大人がしっかりと支えられるようにしていきたいと思います。

中でも、最高学年となった6年生の変化には目を見張るものがあります。6年生の教室に行くと日々の学習に対する集中度が格段に高まっていると感じます。一人一人が学習課題に向き合おうとする姿が見られるようになっていきます。また、委員会紹介集会では、委員長・副委員長となった6年生の子供たちが、今年一年間の委員会での目標を立派に発表してくれました。「みんなが学校生活を過ごしやすくなるように」そんな思いで一人一人真剣に話す姿を見て、本当に頼もしく感じました。さらには、先日、4月29日に行われた東村山市春の緑の祭典では、代表委員会を中心とした4名の6年生の代

表児童が式典で作文発表をしてくれました。全生園の人権の森や自然環境保護のためのSDGsの取組など、緑を守る活動に対する自分自身の思いを豊かに表現してくれました。6年生の発表が大変素晴らしかったこともあり、東村山市緑を守る市民協議会より記念樹の贈呈がありました。本校は数年後に建て替えが予定されていることから、校舎や校庭が完成した際に改めて植樹されるとのことです。

さて、東村山市では「こども・若者一人ひとりが主人公 みんながつかむ笑顔のミライ」を基本理念とした『東村山市こども計画』（令和7年3月）が策定されました。令和5年4月「こども基本法」が閣議決定され、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指しています。本計画の中には、こども・若者の権利を大切にすることが取り上げられています。子供の想いや意見を引き出し、受け止めることを通し、子供の社会参画や意見表明の機会を推進しようとしています。子供たちにとって最も身近な社会は学校です。学校生活がよりよくなるように、自分たちの生活が安心して安全だと感じられるように、一人一人が主体的に考えをもってほしいと思います。そして、その子供たちの考えや意見を大切にして、よりよい学校環境となるよう保護者・地域・教職員が協働して取り組んでいくことが重要であると考えます。

6年生の子供たちは、学校のリーダーとして、きっとたくさんの意見を表明してくれると思いますし、学校生活をよりよくするために行動してくれると思います。萩山小学校が変わり、大きく成長する姿を楽しみにしていきましょう。